

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について

教学指導課

- 小学校については、国語・算数ともに、平均正答率の全国平均との差は1ポイント以内であることから、概ね全国平均並みの結果となりました。しかし、国語については、昨年度はA・Bともに平均正答率が全国平均を上回っていたものが、今年度はAは同じ、Bは下回っています。
- 中学校についても、国語・数学ともに、平均正答率の全国平均との差は1ポイント以内であることから、概ね全国平均並みの結果となりました。
- 平成26年度の小学生が中学3年生として調査を受けたことを考えると、国語A以外の科目において、全国平均と比べて下降している傾向が見られます。
- 今後は、教科調査の設問ごとの解答状況や分布の様子、質問紙調査の結果をもとに、詳細に分析を進めてまいります。また、学力向上外部検証委員会を設置して、教育委員会の取組についても検証し、来年度以降の施策の立案に生かしてまいります。

1 実施状況

学 校	実施学校数	児童（小6）・生徒（中3）数
公立小学校	365 校（内特別支援学校 3 校）	17,609 人
公立中学校	186 校（内特別支援学校 1 校）	18,098 人

※ 児童・生徒数は、回収された解答用紙が最も多かった教科の解答用紙の枚数で算出。

2 長野県と全国の平均正答率（％）の比較（公立）

学 校	年度 教科	平成 29 年度		平成 28 年度		平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
		長野県 (全国)	全国と の差	長野県 (全国)	全国と の差	長野県 (全国)	全国と の差	長野県 (全国)	全国と の差	長野県 (全国)	全国と の差
小 学 校	国語 A	75 (75)	0	74 (73)	+1	70 (70)	0	73 (73)	0	64 (63)	+1
	国語 B	57 (58)	-1	59 (58)	+1	66 (65)	+1	57 (56)	+1	50 (49)	+1
	算数 A	78 (79)	-1	77 (78)	-1	75 (75)	0	79 (78)	+1	78 (77)	+1
	算数 B	46 (46)	0	47 (47)	0	45 (45)	0	59 (58)	+1	60 (58)	+2
中 学 校	国語 A	78 (77)	+1	76 (76)	0	76 (76)	0	80 (79)	+1	77 (76)	+1
	国語 B	72 (72)	0	66 (67)	-1	65 (66)	-1	49 (51)	-2	66 (67)	-1
	数学 A	64 (65)	-1	61 (62)	-1	64 (64)	0	67 (67)	0	62 (64)	-2
	数学 B	48 (48)	0	44 (44)	0	41 (42)	-1	58 (60)	-2	40 (42)	-2

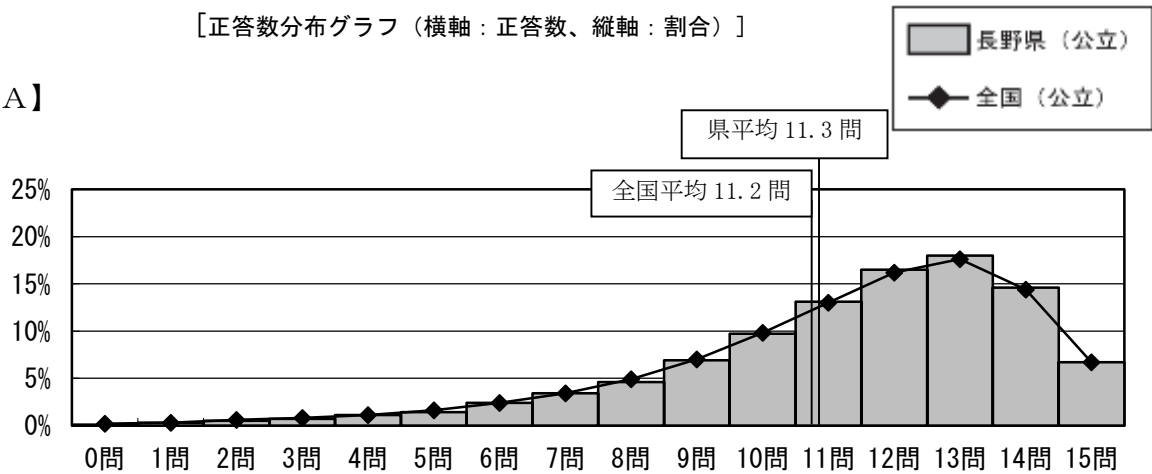
### 3 長野県と全国（公立）との正答数分布グラフの比較

[小学校]

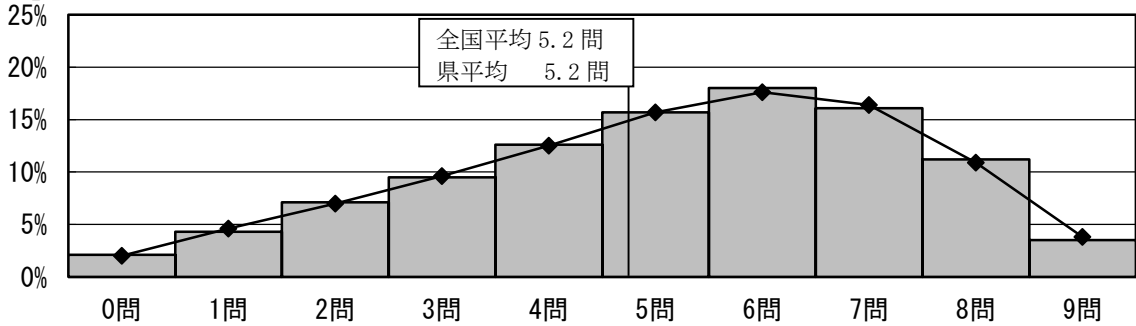
どの教科・科目も正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向である。算数Aでは、全問正答（15問）の児童の割合がやや低くなっている。算数Bでは、10問以上の児童の割合がやや低く、7問から8問の児童の割合がやや高くなっている。

[正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）]

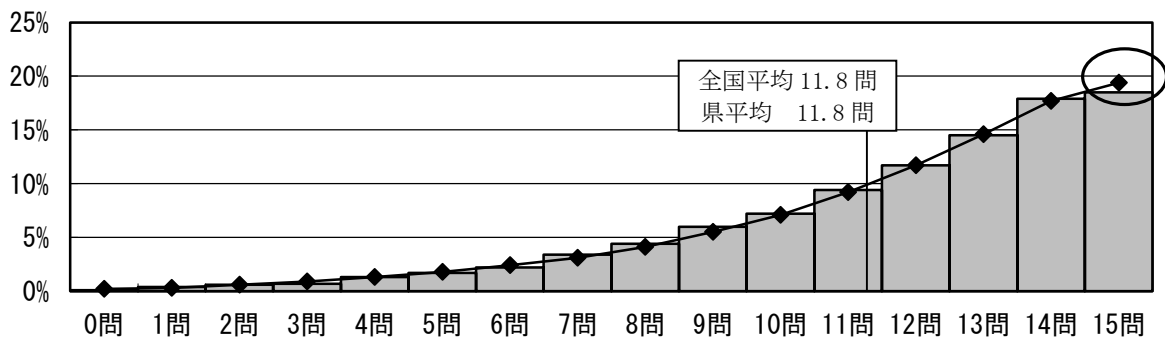
【国語A】



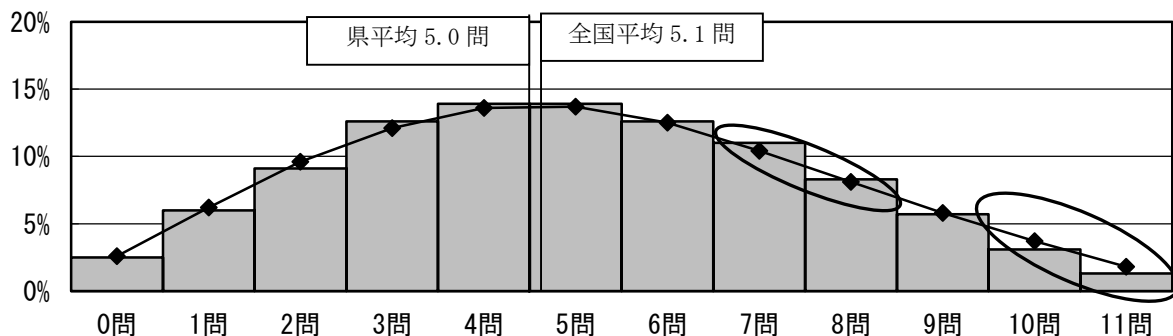
【国語B】



【算数A】



【算数B】



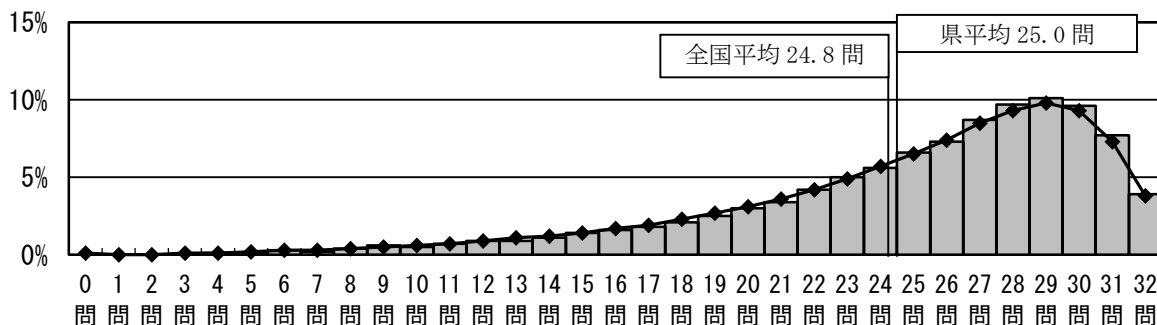
[中学校]

正答数の分布は、全国とほぼ同様の傾向である。国語Bでは、全問正答（9問）の生徒の割合がやや低い。数学Aでは、正答数が32問から35問の生徒の割合がやや低い。数学Bでは、正答数が4問から6問の生徒の割合がやや高い。

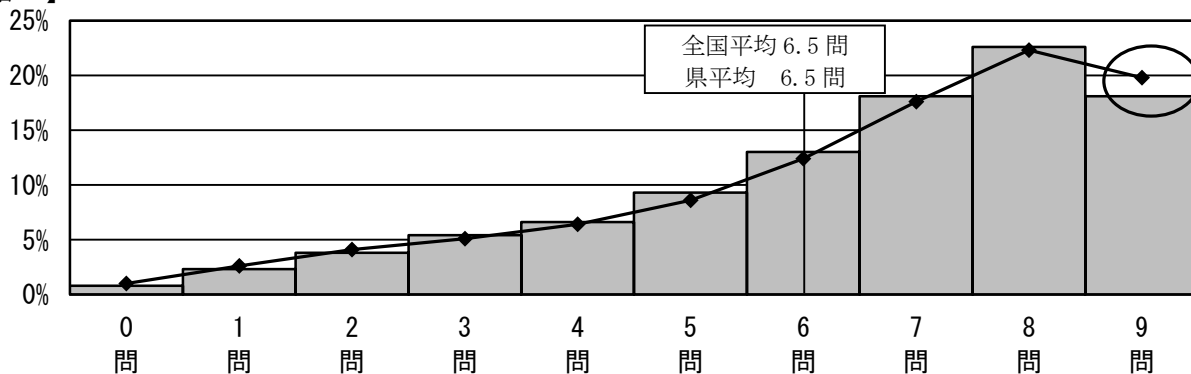
[正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）]



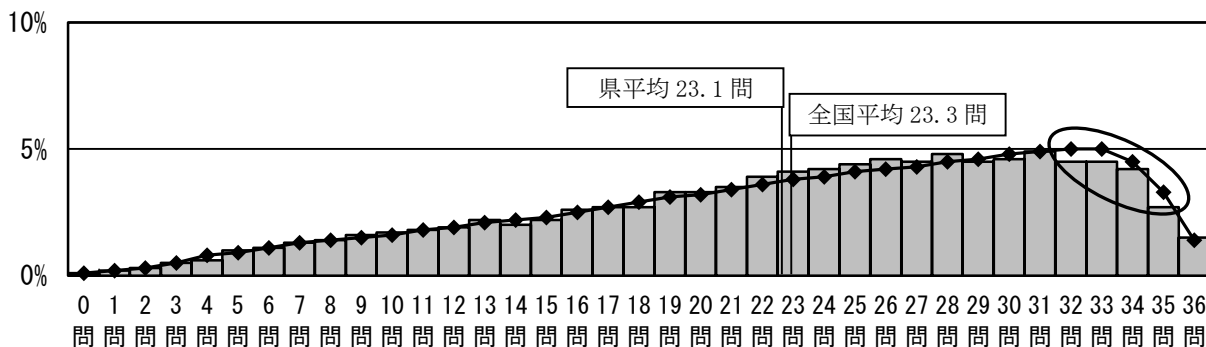
【国語A】



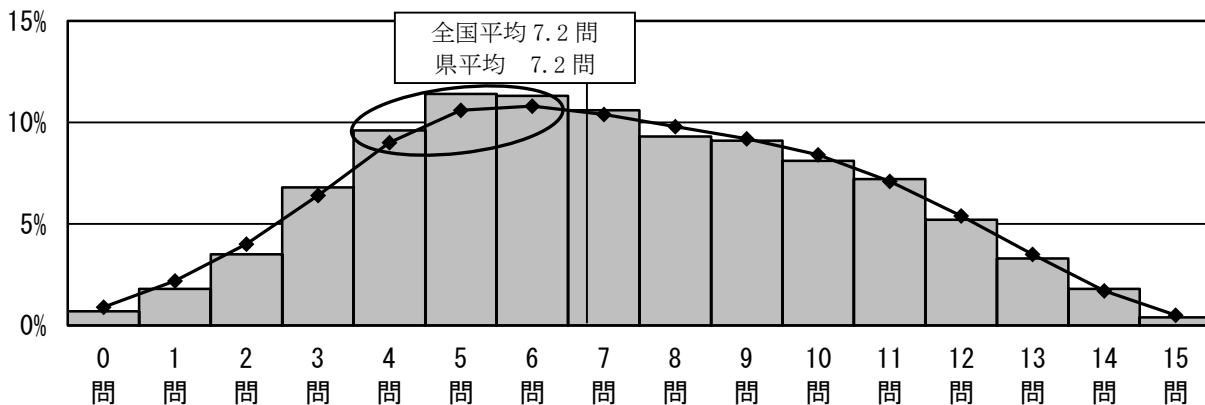
【国語B】



【数学A】

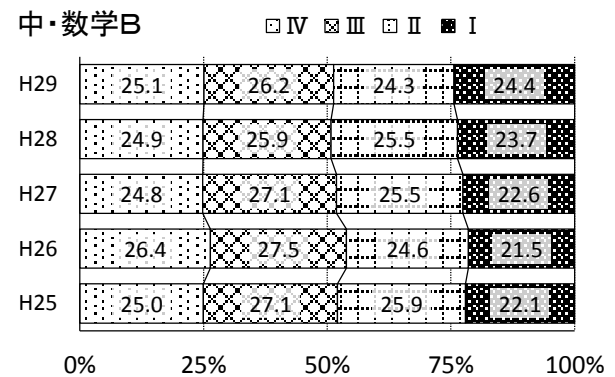
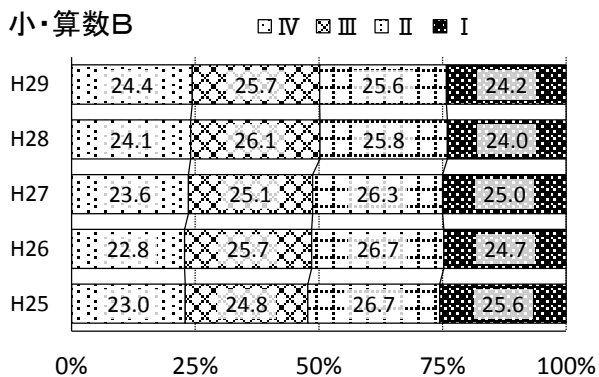
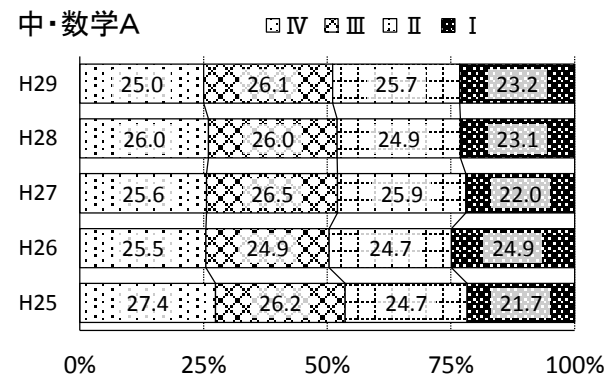
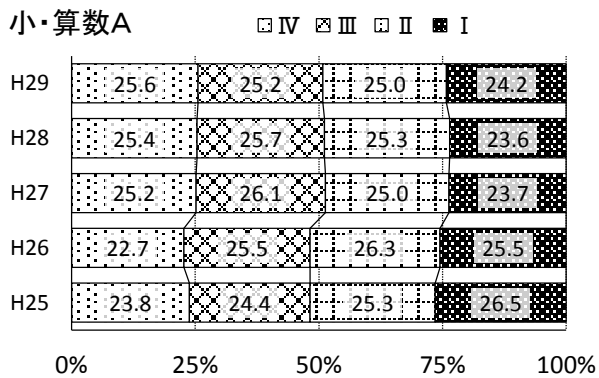
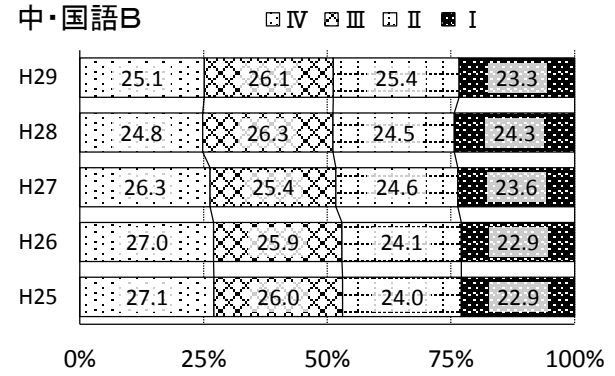
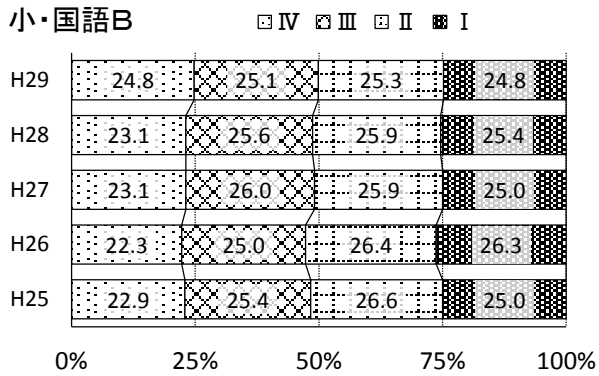
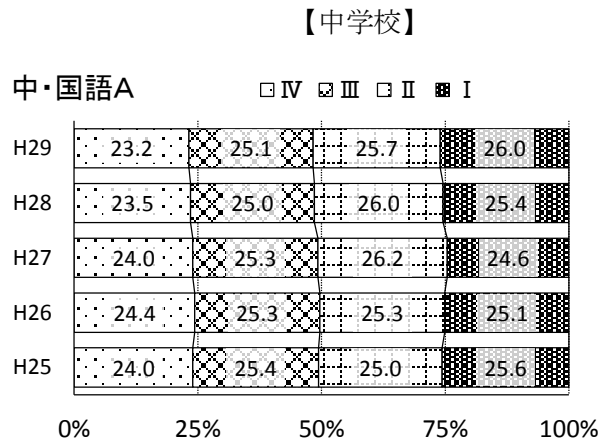
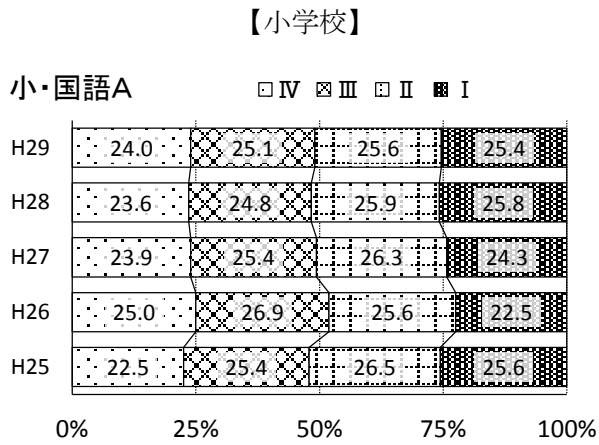


【数学B】



#### 4 分布に着目した経年の状況

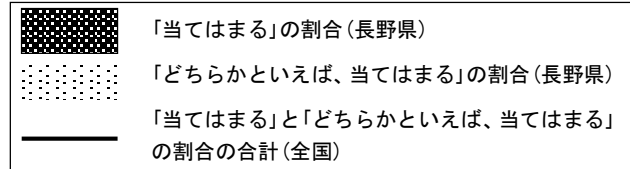
※全国を受検者を正答数の多い順に並べ、上位から25%ずつ4分割(境界を含む階級の度数を按分することで、4等分となるよう補正)し、それぞれの区分をⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳとした上で、各区分に入る長野県の児童生徒の割合を求めたもの。



## 5 質問紙調査の回答状況

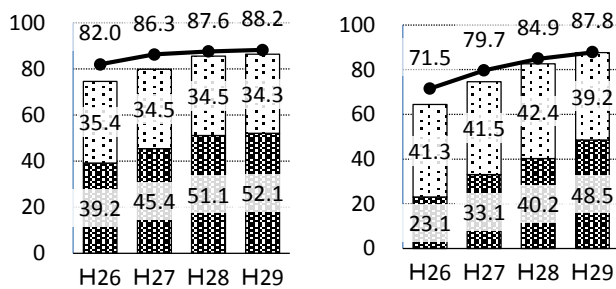
目標を示すことや振り返る活動、話し合う活動など、「授業がもっとよくなる3観点」にかかわる項目に対しては、全般的に肯定的な回答が増加しており、児童生徒質問紙と学校質問紙の差も縮小する傾向にある。また、総合的な学習の時間における探究的な学びへの取組や、計画を立てて家庭学習に取り組む割合も、昨年度より増加している。

《左:小学校 右:中学校》

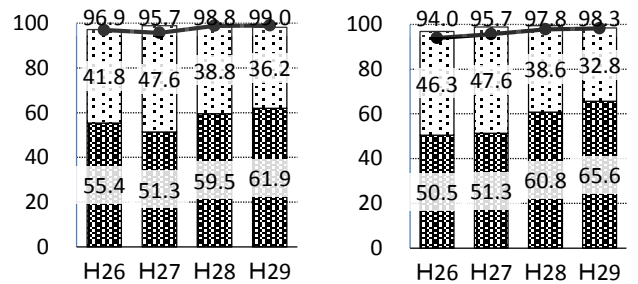


### ①授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う

(児童生徒質問紙)

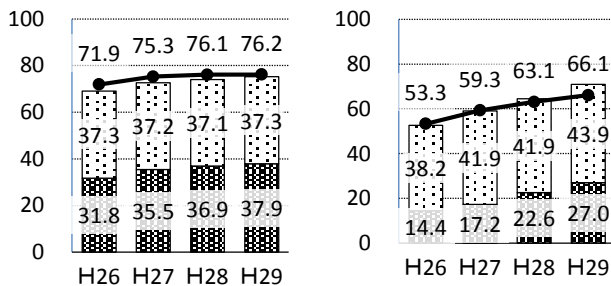


### ②授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた(学校質問紙)

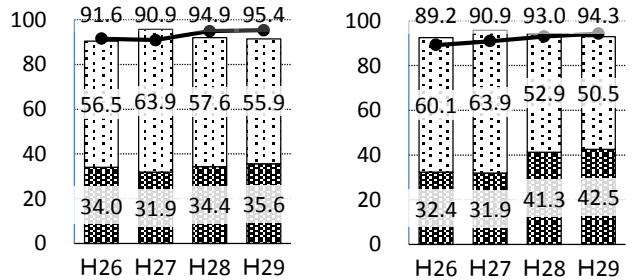


### ③授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う

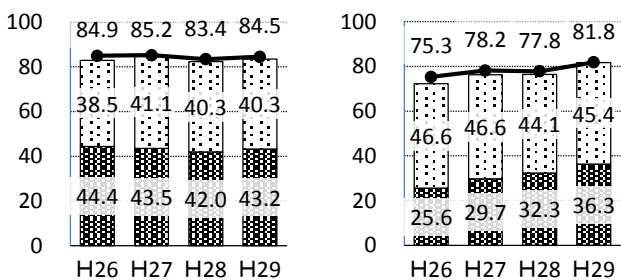
(児童生徒質問紙)



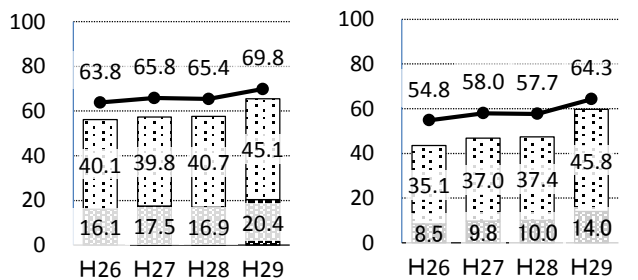
### ④授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた(学校質問紙)



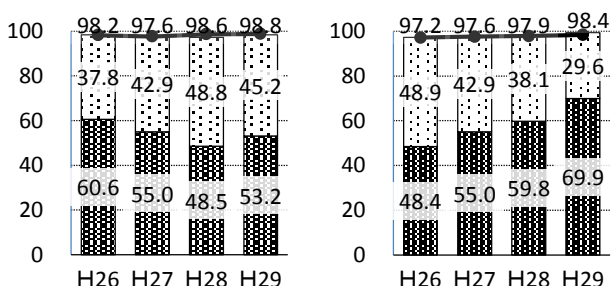
### ⑤授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う(児童生徒質問紙)



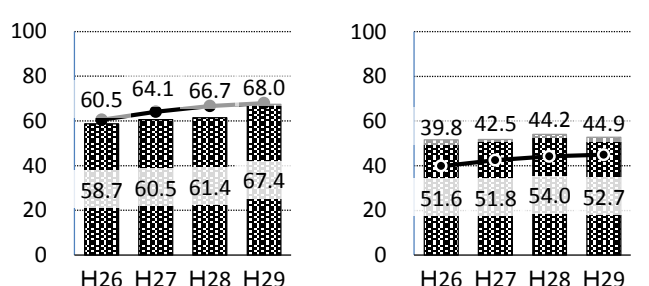
### ⑥「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだと思う(児童生徒質問紙)



### ⑦学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している(学校質問紙)



### ⑧校長は、校内の授業を毎日見て回っている(学校質問紙)



## 6 今後の取組

### (1) 平成 29 年度後半の取組

#### ① 学力向上ミーティングの実施（9月中旬～10月下旬）

- ・全国学力・学習状況調査及びP調査について、各学校における結果分析や改善等を進めるために、教育事務所ごとに各学校の教頭・研究主任等を対象に研修会を実施

#### ② 「学力向上フォーラムながの」の開催（平成 30 年 1 月 22 日 キッセイ文化ホール）

- ・県内全小中学校及び市町村教育委員会、保護者、地域が一体となって、長野県の児童生徒の学力向上を目指す機運を高める

#### ③ 学力向上に関わる学校の取組に対する支援

- ・学力向上に関わる非常勤講師配置校 27 校の結果を分析し、学力向上加配の有効性について検証
- ・全国学力・学習状況調査や県独自の実態調査を組み込んだ、各学校における年間の学力向上サイクルを再構築

#### ④ 市町村教育委員会との連携

- ・市町村教育委員会を訪問し、結果分析のサポートを行うとともに、市町村教育委員会がそれぞれの課題を明確にし、改善に向けた取組が進むよう支援

#### ⑤ 全国学力・学習状況調査の適切な取組の推進

- ・各学校において、数値データの上昇のみを目的とした取組ではなく、調査の趣旨・目的に沿った実施がなされるように、調査結果を授業改善や研究につなげていけるよう、学力向上担当主事を中心に支援していく。
- ・各校の学力向上サイクルの中に全国学力・学習状況調査を組み込めるように、平成 30 年度実施予定の全国学力・学習状況調査において、各校に早期採点の取組を促す。

### (2) 来年度以降の施策に生かすための取組

#### ① 学力向上外部検証委員会の設置

- ・研究者(3名)、市町村教育委員会(2名)、学校関係者(4名)、保護者(2名)、民間(1名)で構成する検証委員会を設置し、学力向上のための県教委の取組についての評価と改善の方向を検討

#### ② 学力向上外部検証委員会の提言を受けた施策の立案

《外部検証委員会名簿》

	氏 名	所 属 等
研究者	西 一夫	信州大学教育学部教授
	小口 祐一	茨城大学教育学部教授
	島田 英昭	信州大学教育学部准教授
市町村教育委員会	小木曾秀美	根羽村教育委員会教育長
	一色 保典	安曇野市教育委員会指導主事
学 校	松木 智子	長野市立下氷鉦小学校長
	鹿取 俊彦	小布施町立小布施中学校長
	山本 直佳	千曲市立八幡小学校教諭（国語）
	沖 美鈴	長野市立長野中学校教諭（国語）
保護者	黒岩 裕子	長野県PTA連合会副会長
	小野みさき	長野県PTA連合会幹事
民 間	齋藤 嘉克	学校法人信学会教育振興部学習企画課長